

# 市政への質問

一般質問は、市政に関わる市の考えを聞いたり、議員が政策を提案したりするものです。各議員の質問項目は下記のとおりです（質問順に掲載）。

<b>① 小櫃 市郎（清流クラブ）</b> 1 地方（秩父）創生、地域活性化政策 2 台風19号被災状況および今後の対策	<b>⑤ 浅海 忠（清流クラブ）</b> 1 皆野寄居バイパスの料金値下げ 2 児童通学時の安全確保と高齢者保護 3 道路環境の整備 4 公共施設施策・まちづくり施策 他	<b>⑨ 金崎 昌之</b> 1 災害時における公助の役割 2 奨学金制度の見直しを 3 身近に必要な公園
<b>② 高野 宏（清流クラブ）</b> 1 環境・エネルギー施策 2 公衆衛生施策 3 防犯・防災施策 4 秩父市奨学金	<b>⑥ 出浦 章恵（日本共産党秩父市議団）</b> 1 小中一貫校にせず現在の21校存続を 2 介護保険改悪で自己負担増の影響は 3 公立・公的病院の再編統合で地域医療は	<b>⑩ 大久保 進（公明党）</b> 1 骨髄バンクドナー登録 2 インフルエンザ予防接種助成拡大 3 台風19号で被災した個人事業主への支援策
<b>③ 赤岩 秀文（清流クラブ）</b> 1 医療 福祉 健康政策 2 教育 子育て 文化伝承政策 3 り災証明書の発行要件 4 大滝地域の振興策	<b>⑦ 桜井 均（日本共産党秩父市議団）</b> 1 避難者の対応と避難所の状況 2 土砂災害警戒区域外の状況 3 河川氾濫や浸水と河川付近の住宅対応 4 災害時の職員勤務と消防団員の対応	<b>⑪ 上林 富夫（サンライズ秩父）</b> 1 危機管理体制（台風19号関連他） 2 働き方改革 3 随意契約 4 公用車 他
<b>④ 黒澤 秀之（清流クラブ）</b> 1 旧秩父セメント跡地構想のその後 2 2020 東京オリ・パラへの対応 3 秩父雲海に対する取り組み 4 水道広域化の進捗と水道料金値上げ	<b>⑧ 本橋 貢（公明党）</b> 1 おくやみ相談窓口 2 防災無線・防災ラジオ 3 災害ゴミ・災害廃棄物 4 公共工事の平準化	<b>⑫ 清野 和彦</b> 1 台風19号の教訓からの防災減災の推進 2 病中・病後児保育事業 3 企業版ふるさと納税 4 中長期的な下水道事業の経営

※市議会ホームページのインターネット録画中継で、一般質問の様子をご覧ください。

## 一般質問

### 清流クラブ政策提言より

#### ●地域活性化政策

**問** 国道140号秩父陸橋解体と平面化に伴う市道の新設の現状は。

**答** 県では、秩父陸橋撤去についての概略設計を令和元年11月末に完了しており、引き続き、平面化のための道路設計を発注することのこと。市道の整備も同時に進める。県と協力体制を取り、着実に整備を進める。

**問** 皆野秩父バイパスの国道299号接続部から秩父公園橋への地域高規格道路の延伸は。

**答** アクセス道路（トンネル化）の早急な整備が必要と考える。国道140号の渋滞緩和、市内への観光誘客向上、企業誘致等による産業や経済の発展にも繋がり、緊急時の防災対策や救急搬送等についても大きく改善される重要な路線となる。延伸計画の策定、早期事業化にむけて市長自ら、県に要望書を提出した。

**問** 市立病院における救急医療体制の堅持については。

**答** 看護師の増員など医療職員の確保に向け努力する。連携病院等に宿直医師の派遣をお願いしていく。特殊勤務手当条例の改正をし、

清流クラブ 小櫃 市郎  
おびつ いちろう



医療職員の夜間医療等業務手当を見直すことにより、職員の処遇改善を行い、夜勤に対する士気の向上を図っていく。地域の救急医療を維持するため、職員が一丸となり、公立病院としての責務を果たしていく。

**問** 秩父新電力株式会社による電力の地産地消と売電の現状は。

**答** 卒FIT太陽光の買取り、ダムの水力発電電力調達や自前の発電施設整備、創エネルギーの実施等、可能な支援、協議を進める。



清流クラブ 令和2年度政策提言書（概念図）

# 一般質問

## 清流クラブ政策提言より



清流クラブ 高野 宏  
たかの ひろし

### ●環境・衛生政策

**問** 秩父新電力株式会社の今後の方向性と、市民との関係、売電については。

**答** 秩父新電力株式会社と市民とのかかりとして、電力供給は、民間企業、事務所等へは令和2年4月から、一般家庭へは令和3年4月から開始する予定で進めている。既に11月から一部の企業等への営業活動を始めている。

今後の方向性は、設立目的である「電力の地産地消」と「地域経済の活性化」の達成に向け、売電により収益を上げ、地域課題解決のための事業を開始する。また、市民にとって効果的なサービスと市と新電力が連携し、検討を進めていく。なお、新電力では、11月から一般家庭を対象として、卒FIT太陽光電力の買取事業を始めた。

**問** 家庭用クリーンエネルギーへの補助の考え方は。

**答** 平成29年度から省エネ家電購入費として家庭用冷蔵庫に対する補助金を開始した。これは、冷蔵庫が家電の中でCO2削減効果が高いため、今年度も交付予定数

100件を超える補助申請があり、有効なCO2削減対策として、当面はこの制度を継続していく。

**問** 環境部門におけるSDGsの啓蒙活動について。

**答** 市ではこれまで環境に配慮した消費として、グリーン購入や省エネ・低炭素型製品の購入を奨励しており、冷蔵庫買い換え補助もこの一環である。地産地消の推進もエシカル消費の一環と捉え、再生可能エネルギーの地産地消を推進強化し、SDGsの目標達成に寄与できるように進めていく。



SDGs 持続可能な開発目標

## 清流クラブ政策提言より



清流クラブ 赤岩 秀文  
あかいわ ひでふみ

### ●教育施策

**問** 少子化が進む本市における、中学校部活動についての現状は。

**答** 運動部所属の生徒は1269人で全体の80%、文化部に所属の生徒は251人で全体の15%、クラブチームに所属し部活動一部免除になっている生徒が全体の5%である。また一校単体ではチームが組めず、合同で部活動を存続している競技も存在する。

**問** 市で今一番推しているスポーツは「ペタンク」であると考える。市内各所に競技場も点在し、競技者も全国レベルである。また、国体の競技種目でもあり、いずれはオリンピック競技にもなるのではとの声もある。若年層の競技者を育成するために「ペタンク」を部活動に取り入れる考えはないか。

**答** 市では、ペタンクによるまちづくりを推進しているが、生徒数の減少が著しく、部活動存続が厳しい状況である。PTA行事、育成会活動等でペタンクを取り入れ一定の成果があることから、これらの活動を引き続き支援していく。

**問** 部活動新設の条件は。

**答** 部活動新設は厳しいが、最終

的には各校の校長判断となる。

### ●伝統文化伝承施策

**問** 9月議会において、令和2年の川瀬祭警備について、オリピックの関連もあり、警察の警備人員が厳しいため、警備は町会ごとの自主警備をお願いする旨の答弁があったが、人員確保の観点から各町会への打診は早急に行うべきと考えるがどうか。

**答** 川瀬祭関係者会議を新年度早々に開催し、問題点を探り、消防団等に警備を依頼する。



警備が心配される川瀬祭

# 一般質問

## 変わりゆくセメント跡地 同地域の将来展望は



清流クラブ 黒澤 秀之  
くろさわ ひでゆき

**問** 旧秩父セメント跡地における最新計画は、「旧秩父セメント跡地活用構想」であるが、これまでの取組みと実績については。また、現在この地域の将来構想はどのようなになっているのか。市が描く今後の企業誘致計画は、どのようなものか。

**答** これまで、副市長をトップとして、旧秩父セメント跡地活用検討部会を継続的に開催し、雇用確保が期待できる製造業誘致を中心に取り組んできたが、現状の厳しい状況を踏まえ、跡地を分割して利用できるよう市道の整備を進めることにした。腰田堀西側のエリアには、ホテル建設の開発行為の事前手続きも進められており、国道140号に架かる陸橋の平面化も含め、周辺整備が今後進んでいくものと思われる。引き続き、地権者と連携しながら、残る跡地の企業誘致を積極的に推進していく。

**問** 同地域の開発に伴い、道の駅ちちぶの将来展望は。

**答** 近年開業する道の駅と比較すると、売り場面積も狭く、今後機能を拡充させていく必要があると考え、有識者を加えた道の駅ちち

ぶ検討委員会で検討を始めている。

### ● 水道広域化の進捗と水道料金値上げ

**問** 水道料金値上げにむけ、水道事業経営審議会が開催されているが、市が基準外繰入れしている助成金についての今後は。

**答** 高料金対策助成金については、今後、財政等の関係部局と連携調整を図りながら決定していく。



開発が進む、旧秩父セメント工場跡地

◎2020東京オリンピック・パラリンピックへの対応  
◎秩父雲海に対する取組み

## 清流クラブ政策提言より



清流クラブ 浅海 忠  
あさやま ただし

### ● 交通・道路政策

**問** 公共交通網の維持・整備に向けた取組みは。

**答** 市の公共交通は、二つの鉄道路線と街中の駅を中心にバス路線が放射状に展開し、行き届かない部分で市営バスを運行する、あるいはタクシー事業が補完する形態。柱となる鉄道やバス路線を維持することを第一に考え取組みを行っている。秩父鉄道・西武観光バスへの財政的支援や、利用者減少を食い止めるため、利用促進を目的に高齢者へバス回数券購入補助、高校生への通学定期券購入補助などを行っている。今年度からは運転免許自主返納者に対し、公共交通利用券6千円を交付する事業を開始し、想定以上の申込があった。現在も1市4町や鉄道、バス、タクシー事業者、国・県の関係部署とともに、課題解決に向けた議論をしているが、今後予定している「地域公共交通網形成計画」の策定に併せ方向性を示していきたい。

### ● スポーツ施設の適正管理と運用

**問** スポーツ施設の適正な管理と

運用、計画的な維持管理改修計画。

**答** 市民スポーツ課所管の体育施設は、業者委託や利用団体の協力で維持管理している。施設の老朽化が進んでいるため、緊急性や危険性の高い改修等が必要に際して工事を実施、簡易的なものは利用団体の協力で進めている。今後、老朽化施設の補修建て替え、維持管理費用が市の財政を圧迫すると想定される。限られた財源を効率的に配分して維持管理を行う必要があるが、老朽化施設が相当数あるため、全ての施設を最適な状態で維持することは難しいと考える。



地域公共交通の拠点  
秩父鉄道秩父駅、西武鉄道西武秩父駅

# 一般質問

## 介護保険改悪 自己負担増か

日本共産党秩父市議員 出浦 章恵



**問** 厚生労働省の社会保障審議会介護保険部会で、来年の介護保険法改定案の策定に向けた議論を進めている。内容は、要介護1、2のいわゆる軽度者の生活援助サービスを介護の給付対象から外す。原則1割の利用料の2割、3割対象者を拡大する。ケアプランの有料化などが検討されている。すでに要支援1、2の訪問・通所介護が2014年の改定で保険給付が外され、地域支援事業へ移行された。自治体の裁量によって、サービス内容や担い手確保などで格差があり、全ての利用者と同じサービスが保障されるか不安を残している。このような中で、新たに要介護1、2まで保険給付対象外とするのは極めて乱暴だと言わざるを得ない。軽度者と言われる人の中には、認知症の人もいる。専門家が、初期段階で見落としがちな状態の変化に気づき、早期対応で進行を抑えることを可能とするため、早い時点で公的介護の仕組みに基づく支援が欠かせない。軽度者への対応を軽視することで介護状態悪化の人を大幅に増やすことになる。利用者負担がすでに2

3割負担になってきている人は、サービスを削ったり、介護施設から退所するケースが出ている。2割以上の負担が原則化されれば、経済的に耐えられず、介護から締め出される人がさらに広がりがかねない。ケアプランの有料化は、利用抑制を加速させる。これらが行われれば、利用者の自己負担増となり、影響はどのようなのか。市の対応は、国の動向に注視しつつ、令和3年度からは、基金の活用も視野に利用者の大幅な負担増にならないよう対応を考えていく。

見直しが検討されていた給付抑制と負担増プラン	
当初提案	とりまとめ案
施設入居者の居住費・食費の自己負担引き上げ	年ご収入120万円以上の人で2万2千円の負担増
現在自己負担無しの施設入所者の室料有料化	引き続き検討
ケアプラン作成費用などの自己負担化	引き続き検討
要介護1、2の生活援助サービスを総合事業へ移行	引き続き検討
高額介護サービス費の自己負担限度額の引き上げ	収入要件を3段階に見直し世帯上限の引き上げ
利用料が2〜3割負担の“現役並み所得者”の対象拡大	引き続き検討

※議員提示資料より

## 台風19号時の対応と 今後の課題は

日本共産党秩父市議員 桜井 均



### ●避難にあたって

**問** 床上浸水の恐れと断水をした避難所があったが、今後の避難所としてのあり方はどうなのか。

**答** 今後の対策として、指定避難所としていない中学校や各公民館を指定避難所とすることを検討。避難所を増やすことで選択肢も増え、より対応ができるようになる。

**問** 家の中にいると防災放送が聞きづらく、大雨だとなお聞こえない。加須市のように防災ラジオを全戸配布したらどうか。

**答** 9月に対象世帯を拡大し該当する方には呼びかけており、配布状況を確認しながら今後どこまで拡大をするか検討していく。安心・安全メールや、無料で放送内容が電話で確認できる「カクニくん」の周知も図っていききたいと思う。

### ●河川氾濫や浸水

**問** ハザードマップに氾濫や浸水状況を記載し、市民に情報を提供したらどうか。

**答** 県が洪水浸水想定区域図の作成を検討していると聞いている。作成後には、被災した河川氾濫地

### ●消防団員への対応

**問** 今回の災害では消防団員がどれくらい従事したのか。また、出勤手当の支給要件を見直したらどうか。

**答** 10月12日〜13日にかけて延べ623人の団員が活動。手当に関しても考えなければと思う。また、消防団への手厚い対応等もしていかなければいけないと思っている。



私道での浸水状況

# 一般質問

## おくやみ相談窓口



公明党 本橋 貢  
もとはし みつぎ

**問** 全国の自治体で専用の総合案内窓口を設ける動きが広がっている。「死亡」に特化したワンストップサービス「おくやみコーナー」で、必要な手続きを一覧にして、部署の移動をせずに済むようにしたり、申請書類を減らして最小限の移動で済むようにしている。「代読・代筆」などの読み書き支援を行っている自治体もあり、高齢化による「多死社会」で役所のスタンダードとなる。市民に寄り添ったサービスと考えるが、取組みについての見解は。

### ● 防災無線・防災ラジオ

**問** 台風の大雨で防災無線が聞き取れない状況についての対策と、防災ラジオの活用は。

**答** ハウリングを起こさず音量を大きくする方法を製造元と協議中。防災ラジオは、12月1日現在2909台在庫がある。貸与対象者を検討し、必要と思われる世帯へ優先的に貸与する。

**答** 現在、死亡届提出の際に、年金・保険・固定資産など必要な手続き案内を届け人に渡し、後日の手続きの参考にしていただいている。ご遺族は、不慣れと思われる手続きを、関係課所でそれぞれ行っているため、窓口では、親切で迅速な手続きが行えるよう心がけ、必要な場合には、次の手続き課所に引き継ぐサービスを行っている。「おくやみ相談窓口」については、職員の配置、専用窓口の設置スペース問題、システムの問題等で、現時点での設置は厳しい状況であると考えている。



防災ラジオ



別府市のおくやみコーナー受付

◎ 災害ゴミ・災害廃棄物処理  
◎ 公共工事の平準化

## 災害時における公助の役割



かなさき まさゆき  
金崎 昌之

**問** 高齢化が進む中での公助（行政）の役割は、自助や共助をやりやすくする手助けだと思いがどうか。

**答** 高齢化の進展で地域の自助・共助が難しくなることが予想される中、行政の役割の一つとして「普段から自助・公助をやりやすくするためのサポート」が求められていると考えている。

### ● 身近に必要な公園

**問** 「市には、子どもを安全に安心して遊ばせられる公園が少ない」との声や「身近な場所安心してグラウンドゴルフ等が楽しみたい」との声がある。整備の考えは。

**答** 新たな整備には多額の費用が必要となることから難しい状況。

**問** 過去の豪雪や今回のような豪雨災害時には、道路や河川、水路や側溝等の現場事情に精通する技能労務職員が求められる。また、現場でつちかった経験や技術を伝承していくことも重要。技能労務職員の充実についての考えは。

**答** 道路維持課分室の重要性は十分に認識している。必要な技能労務職員の確保に努める。

### ● 奨学金制度の見直しを

**問** 若い人たちが多額の奨学金の返済に追われ、苦しんでいる現実がある。若い人の定住促進や地域の人手不足にも寄与する「奨学金返還支援制度」に取り組む考えは。

**答** 奨学金への期待は、「修学困難者に対して」から「地元に戻つ



「若者の姿にこの国のかたちが集約されている」と著者は言う

# 一般質問

## 骨髄バンクドナー登録



公明党 大久保 すすむ  
おおくぼ すずむ

**問** 現在の骨髄バンクドナー登録者数、骨髄提供者数、広報活動、助成制度は。

**答** 市における骨髄バンクドナー登録者数は平成31年3月末で197人、県では令和元年10月末現在で3万9715人で、全国で3番目に多い登録者数となっている。市の骨髄提供者数は、今年度は0人、平成28年1人、29年2人。広報活動は、保健センターまつりにおいて、埼玉骨髄バンク推進連絡会からの協力をいただき広報活動の推進を図っている。さらに、秩父市献血推進協議会による献血事業では、市役所会場において、日本骨髄バンクによるドナー登録会を実施している。助成制度は、秩父市骨髄移植ドナー支援事業助成金交付要綱を制定し、提供者を支援する体制を整えている。通院入院または面接等の日数に2万円を乗じた額とし、1回の提供で14万円を限度として実施している。

## インフルエンザ予防接種助成拡大

**問** 中学生全員への助成拡大は、中学生全員に拡大すると、平

成30年度と同じ接種率で試算した場合、330万円以上必要となり、全額助成の方もいるためさらに加算されることになる。全額市の負担となるため、難しい状況である。

## 台風19号で被災した個人事業主への支援策

**問** 何か支援策はあるのか。  
**答** 台風19号による災害に関しては災害救助法が適用される。個人事業主には適用されないが、県で中小企業再建支援を検討している。



台風19号による道路崩壊現場

## 働き方改革に伴う非正規市職員(臨時等)体制変更



サンライズ秩父 上林 富夫  
かみはやし とみお

**問** 令和2年4月からの会計年度任用職員変更に伴う給料、厚生年金等の対応は。

**答** 年度ごとに設置する職であり、年度をまたいで任用はない。人事評価などにより、再度の任用は可能。週20時間以上かつ1年以上の雇用が見込まれ、賃金月額が8万8千円以上の方は、厚生年金保険および健康保険に加入する。給料は、常勤職員の給料表を基準に算出。変更に伴う市の経費負担は、30年度とまったく同条件の場合で、令和2年度が5千600万円、令和3年度が1億3千万円程度増加の見込みである。財政面での国の援助はない。

## 随意契約事業内容

**問** 基準はどのようなものか。

**答** 市の場合、工事または製造請負が130万円、財産買入80万円、物件借入40万円、財産売却30万円、物件貸付30万円、これ以外は50万円と定めている。地方自治法施行令の中で金額にかかわらず随意契約ができるのは、契約の性質、目的が競走入札に適しないものや緊急により競走入札ができないとき、



働き方改革がすすむ秩父市役所

競争入札することが不利と認められる場合などが定められている。  
**問** ある国際学者は、英語教育が国を滅ぼすと話しており、小4で大卒程度の数学検定1級に合格なるとの報道から、こちらに力を入れるべきとの意見もある。平成30年度契約事業の中で、高額な英語指導業務委託約3200万円の内容はどのようなものか。増額理由は。  
**答** 外国語授業の教員助手となる派遣委託料で、増額理由は前年度より8人から9人に増員したため。

# 一般質問

## 令和元年度台風19号の教訓



きよの かつひこ  
清野 和彦

**問** 台風19号を受け、今後どのような対策が望ましいと考えるか。

**答** 台風19号ではいつか起きるかもしれないと想定していた災害が市内各所で発生した。次の災害に備えて被害想定レベルを1ランク上げて対応を見直さなければならぬ。判明した危険箇所は、関係部署や関係機関に対策を依頼し、ハザードマップへの掲載や市民への周知も検討する。避難所について効率的な避難者受付や本部と現場職員との状況共有、充電ツール等の備品の充実、避難所の追加指定等を検討する。被害調査員が危険箇所を発見した場合の応急措置の方法も検討するとともに、来年度の職員防災訓練がより実践的な訓練となるよう検討する。

### ● 企業版ふるさと納税

**問** ところざしある企業が地方創生を応援する「企業版ふるさと納税制度」が政府により設けられているが十分に活用されていないという指摘もあり、企業の減税効果を寄附額の9割まで拡充し、事務手続きも緩和する方向で調整に入った。この制度をどのように活

用することが市にとって望ましいか。

**答** 令和2年度には合併特例措置が終了するので、合併特例債に代わる財源確保が課題になっている。財源調達の選択肢として、また市を応援いただける企業の拡大、企業との連携の強化を図るべく検討していきたい。



内閣府・企業版ふるさと納税パンフレット(表紙)

- ◎ 電力インフラの強靱化・外国人観光客向けの避難所の指定と公表
- ◎ わかりやすく利用しやすい病児・病後児保育体制の確立
- ◎ 中長期的な下水道事業の経営

## 傍聴席へのご案内

傍聴される際に、特別な手続きや事前の予約は必要ありません。傍聴を希望する本会議当日に、本庁舎4階の「傍聴受付」にお越しただき、傍聴券へ必要事項をご記入ください。



1. エレベーターで4階まで上がります。



3. 傍聴席の入り口は、「傍聴受付」の左奥にあります。



2. エレベーターを降りると左側に「傍聴受付」があります。



4. 傍聴席は全部で41席あります。(車イス用のスペースもあります。)